



平成 30 年 11 月 9 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 旅 工 房
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 高 山 泰 仁
(コード番号：6548 東証マザーズ)
問 い 合 わ せ 先 執 行 役 員 岩 田 静 絵
コーポレート本部長
TEL. 03-5956-3044

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 31 年 3 月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正について

(1) 平成 31 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	28,960	107	100	63	13.57
今回修正予想 (B)	28,960	204	201	121	25.99
増減額 (B - A)	—	96	101	58	
増減率 (%)	—	90.2	101.6	92.1	
(ご参考) 前期実績 (平成 30 年 3 月期)	24,257	81	69	39	8.53

(注) 当社は、平成 29 年 10 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行いました。平成 30 年 3 月期の期首にこれらの株式分割が行われたと仮定して、1 株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 修正の理由

平成 31 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間における業績は、個人旅行につきましては欧州方面の需要取り込みが好調であったことに加え、オセアニア方面も専門部署の設置による販売強化が奏功したこと、また法人旅行事業につきましても企業の業務渡航や団体旅行、MICE 案件の受注が順調に推移したことから想定を上回る結果となりました。また、営業利益につきましても、人件費の生産性向上に対する継続的取り組みと経費の効率的な使用、経常経費の削減により想定を上回る結果となりました。

こうした業績の状況を踏まえ、平成 31 年 3 月期の連結業績予想を修正いたします。

(注) 上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上